

令和3年度事業計画

I. 令和3年度の取り組み方針

- ・第4次産業革命や市場の急速な変化と多様化に象徴されるように、これまでにない経済社会構造の急激な変革の中にあつて、デジタル化・データやA Iの活用等のDXの推進に加え、カーボンニュートラルやSDGsが成長制約要因ではなく、官民一体となった今後の日本の成長戦略として提唱されている。さらに世界的なパンデミックという全く新しい危機管理が求められている。
- ・これらの変革や課題に対応し、新しい事業を起こすには1社の技術や知識等だけでは限界があり、それまでのモノ・仕組みなどに対して新しい技術や考え方を取入れて、新たな価値を生み出し、用いられることにより、社会的にも経済的にも大きな変化を起こすと同時に経済社会の課題を解決するオープンイノベーションが求められている。
- ・このような今日的な課題を踏まえ、令和3年度は、構成機関のニーズ・シーズの把握と外部企業等のマッチングを強化し、設立当初の平成20年度からの目的である「オープンイノベーション」を推進するため、次の事業を行う。
 1. KICC 構成機関のネットワーク
 2. 九州企業と九州域外企業のニーズ・シーズのマッチング事業化支援
 3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進
 4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援
 5. 成功報酬型コーディネータ事業の支援
 6. 広報活動の実施

II. 個別事業

1. KICC 構成機関とのネットワーク

(1) 通常総会の開催

- ・令和3年度の通常総会は、令和2年度事業報告や令和3年度事業計画（案）等を書面で決議し、その結果報告を令和3年7月27日（火）にリモート（オンライン）形式で行う。

(2) 特別講演会の開催

- ・通常総会終了後、日本有数のものづくり企業を中心とした技術パートナー等の探索やマッチングを支援するリンカーズ（株）による最新事例及び経済産業省による今後の世界的な成長戦略であるカーボンニュートラルをテーマとした特別講演会を開催する。

2. 九州企業と九州域外企業のニーズ・シーズのマッチング事業化支援

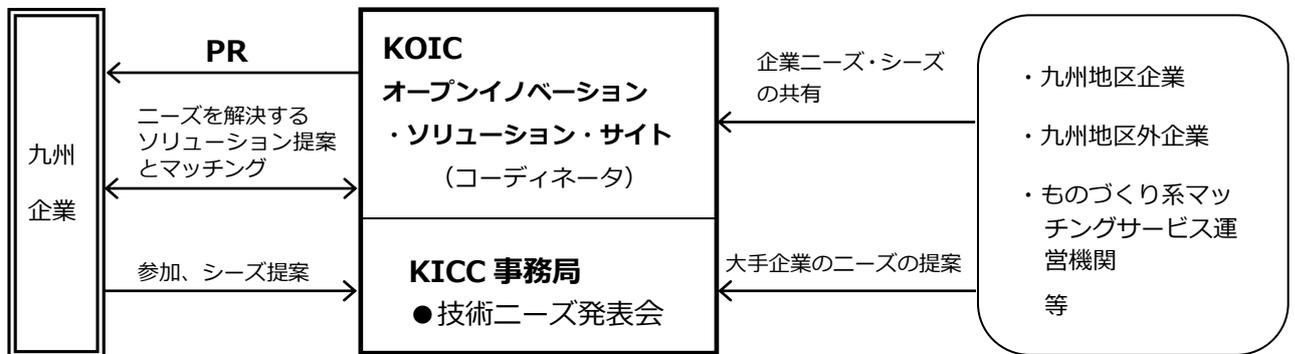
(1) 九州企業、KICC 構成機関のニーズ・シーズ調査

- ・具体的なニーズ・シーズを把握するため、地域未来牽引企業、KICC 構成機関（大学・高専を除く）等（約 2,000 社）のニーズ・シーズを調査し、オープン化が可能な案件をオープンイノベーション・ソリューション・サイトに掲載する。

(2) オープンイノベーション・ソリューション・サイトの活用

- ・オープンイノベーション・ソリューション・サイトの件数の拡大を図るため、ニーズ・シーズ調査結果のデータベース化を進めるとともに、そのニーズ・シーズと九州域外企業のニーズ・シーズを探索し、WEB 上だけではなく、KICC 事務局がリアルにつないでマッチング等を行うことにより、事業の課題解決につなげる。

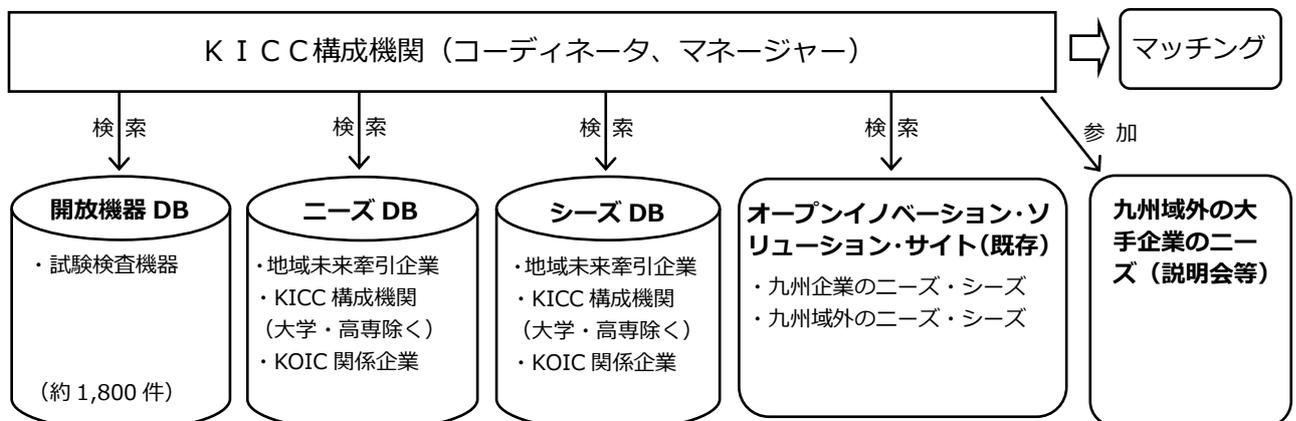
オープンイノベーション・ソリューション・サイトの全体図



(3) 大手企業の技術ニーズ説明会の開催

- ・大手企業と九州の中小企業の取引拡大を目指して、大手企業が欲しい技術・製品等を発表し、中小企業が解決法を提案し、商談を進める技術ニーズ説明会を開催する。

開放機器の利用、ニーズ・シーズの検索マッチングの関係図



(4) KICC 構成機関向けオープンイノベーションセミナー

- ・中小企業のオープンイノベーションの先行事例と留意点、オープンイノベーションとクローズイノベーションの使い分け、オープンイノベーションに必要なスキルや組織のあり方等を研究する、セミナーを開催する。

3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進

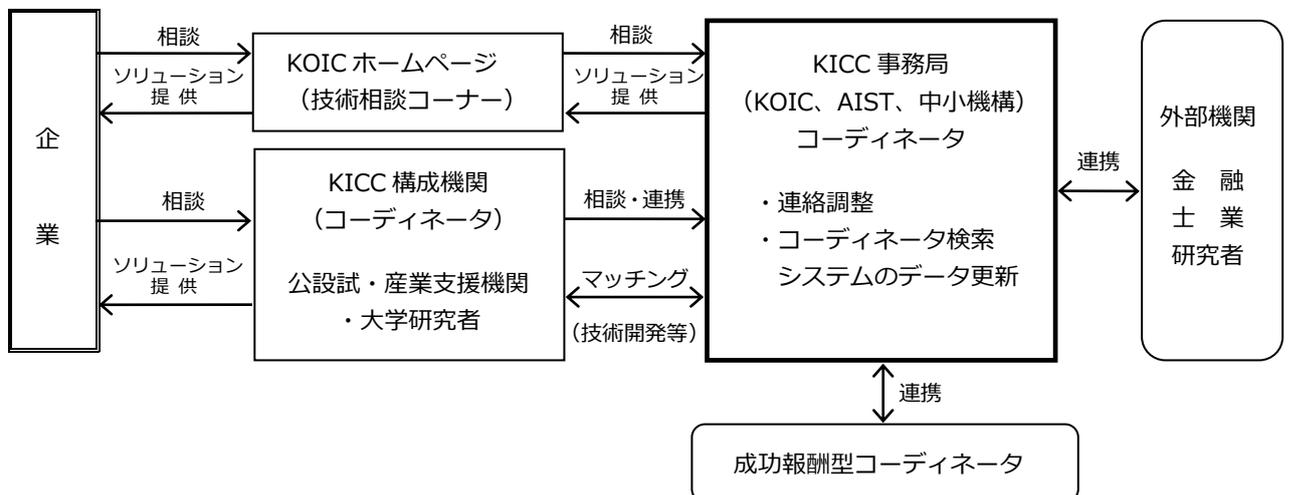
- ・最新のデータに追加・更新するとともに、KICC の WEB サイトを通じて開放試験研究機器等の PR と利用促進に努める。
- ・なお、本データベースの更新等にあたっては、工業系公設試連携事務局等の構成機関の協力の下で事務局が調査を行うこととする。
- ・公設試データベース（登録機関 13 機関）、大学・高専等データベース（登録機関 18 機関）

4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援

(1) 企業等の技術課題の解決に資するワンストップサービスの推進

- ・企業の様々な技術課題に対し、KICC の「技術相談ワンストップサービス」の仕組みを活かした取組みを行う。
- ・具体的には、技術相談について、KICC 事務局の KOIC と AIST Kyushu のコーディネータ等が対応するとともに、案件次第では KICC 構成機関のネットワークの活用や金融機関、士業等と連携して、ソリューションを提供する。
- ・また、KICC 構成機関の研究者等とのマッチングが必要な案件については、企業と大学・高専・公設試とのマッチングや産学連携を支援することにより、課題解決を促進する。
- ・KICC 構成機関のコーディネータ、マネージャー等の連携・交流を図るためコーディネータ検索システムのデータを都度更新し、最新データとする。

技術相談ワンストップサービスの仕組み



(2) 九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー

- ・ AIST Kyushu や各県公設試の最新の技術情報を発表し、共同研究や技術移転に繋げるため、「九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー」に参加する。
- ・ 開催日：令和3年10月7日（木）
- ・ 開催場所：以下の会場でオンライン開催
産総研九州センター（鳥栖市宿町 807-1）
- ・ 主な内容：支援機関等の活動紹介、特別講演、企業と公設試の合同成果発表会

5. 成功報酬型コーディネータとの連携による事業化の推進

- ・ 成功報酬型契約等に基づき、個々の企業の研究開発から事業計画・販路拡大までを伴走し、事業化を図る成功報酬型コーディネータ事業については、企業等が求める技術課題や事業化が多様化・複雑化していることに鑑み、オープンイノベーションの視点から KICC 構成機関や事務局のコーディネータ等との連携を拡充し、技術課題解決や事業化を支援することにより、多様なイノベーションの創出に取り組む。
- ・ また、IoT や AI 等のデジタル分野の新しいニーズに応えるため、KICC 構成機関や外部機関との連携を強化する。

6. 広報活動の実施

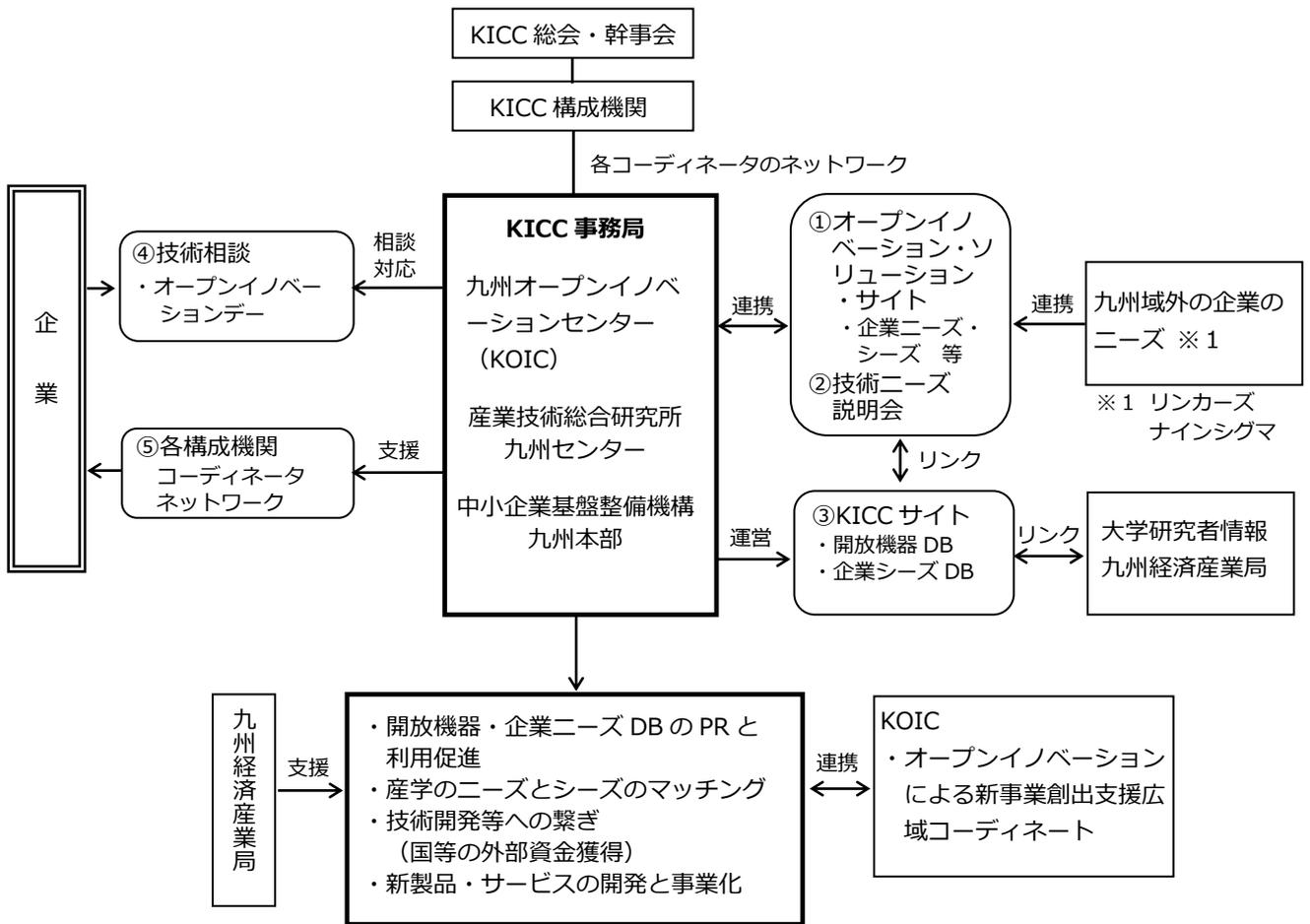
- ・ KICC の専用ホームページを通して、KICC 事業や国等の支援施策等の情報の提供、技術相談ワンストップサービスの紹介、開放試験研究機器や研究者の情報等の広報活動を実施するとともに各種の機会を通して KICC の活動の PR に努める。

Ⅲ. 予算額

- ・ KICC 事務局の1つである KOIC に250万円を計上し、通常総会・特別講演会をはじめ、ニーズ（課題）調査や KICC 構成機関のコーディネータのネットワーク形成、KICC の専用ホームページやオープンイノベーション・ソリューション・サイトの改善及び大手企業の技術ニーズ説明会、オープンイノベーションセミナー等に充当する。

件名	支出額(千円)	項目
総会	550	会場費他
特別講演会	185	謝金他
開放機器 DB 更新	100	委託
オープンイノベーションセミナー	500	委託
ホームページ	1,000	維持管理
旅費・通信運搬費	165	
合計	2,500	

KICC 取組体系図



以上